

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
いろいろな生物とその共通点	25	<ul style="list-style-type: none"> ●教室や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物が様々な場所で生息していることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付ける。 ●いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基として分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付ける。 ●身近な外部形態の植物の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだして、花のつくり(中心に咲く)、種子植物が葉子植物と裸子植物に分類できることや、胚珠が種子になることを理解する。また、被子植物が単子葉類と双子葉類に分類できることや、種子をつくらない植物が蕨子をつくることを理解する。 ●動物の共通点や相違点に基づいて植物が分類できることを見いだして理解する。 ●身近な動物の外部形態の観察を行い、その観察記録などに基づいて、共通点や相違点があることを見いだして、動物の体の基本的なつくりを理解する。 ●動物の共通点や相違点に基づいて動物が分類できることを見いだして理解する。 	<p>いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p>	<p>身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見だし、論理立てて表現する。</p>	<p>いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、粘り強く思考・判断をしようとするなかで、見通しをもったり振り返りなど自らの学習を調整し、科学的に探究しようとしている。</p>
身のまわりの現象	26	<ul style="list-style-type: none"> ●光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだして理解する。その際に、入射角と反射角の定性的な関係を知る。また、白光がプリズムなどによっていろいろな色の光に分かれることについて知る。 ●凸レンズの働きについての観察を行い、物体の位置と実像の位置の関係を理解する。 ●音についての観察を行い、音はものが振動することによって空気中などを伝わることを理解する。また、音の伝わる速さについて、空気中を伝わるおおよその速さを知る。 ●物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くときの力が変化したとき振動の大きさ、運動の様子が変わったりすることを見いだして理解するとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。また、ばねに加える力の大きさとばねの伸びとの関係について規則性を見いだして理解する。 ●力の単位として「ニュートン」を用いること及び質量と力の違いについて知る。 ●物体に働く力についての観察を行い、力が釣り合うときの条件を見いだして理解する。 	<p>身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p>	<p>身近な物理現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見だし、論理立てて表現している。</p>	<p>身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、粘り強く思考・判断をしようとするなかで、見通しをもったり振り返りなど自らの学習を調整し、科学的に探究しようとしている。</p>
大地の変化	26	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な地形や地層、岩石などの観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構造などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 ●火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解する。 ●火山と地層の観察を行い、それらの組織の違いを関連付けて理解する。 ●地層の体積や記録をもとに、その振れの大きさや広がり方の規則性について知る。 ●地震の原因を地球内部の動きと関連付けて理解し、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。 ●身近な地層の観察を通して、土地の成り立ちや広がり、構成物などについて理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 ●地層の様子やその構成物などから地層の成り立ちや広がり方、重なり方や広がり方についての規則性を見いだして理解するとともに、地層そのものの化石を手掛かりとして過去の環境と地質条件を推定できることを理解する。 ●火山や地震の原因を地球内部の動きと関連付けて理解し、大地の変動の様子を理解する。 ●自然がもたらす恵み及び火山災害と地震災害について調べ、これらと火山活動や地震発生との関係性を理解する。 	<p>大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p>	<p>大地の成り立ちと変化について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見だし、論理立てて表現している。</p>	<p>大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、粘り強く思考・判断をしようとするなかで、見通しをもったり振り返りなど自らの学習を調整し、科学的に探究しようとしている。</p>
身のまわりの物質	27	<ul style="list-style-type: none"> ●身のまわりの物質の性質を様々な方法で調べ、観察を行い、物質には密度や加熱による変化と溶解性の性質と共通の性質があることを見いだして理解するとともに、観察器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 ●気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身に付ける。 ●物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。 ●物質は融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに、混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。 ●水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けて理解する。 	<p>身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。</p>	<p>身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見だし、論理立てて表現する。</p>	<p>身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、粘り強く思考・判断をしようとするなかで、見通しをもったり振り返りなど自らの学習を調整し、科学的に探究しようとしている。</p>